



サウナで森を救う？

林業分野の地域おこし協力隊として活動を始めて1年、個人事業としてアウトドアサウナを始めました。林業と関係ないように思えますが、どうやって林業を盛り上げようかと考えた結果がサウナでした。

『アウトドアサウナ』

サウナ用のテント内で薪ストーブを稼働することによって、テント内の温度は100度近くまで上昇します。身体が温まったら水風呂の代わりに川へ。大自然を五感で感じる、今注目のアクティビティです。



長谷川 隆春

北海道出身の25歳。前職で公務員として林業に携わり、もっと林業に関わりたくて協力隊に着任。自分の山をもって林業家として定住すべく活動中。

サウナの情報はインスタ @hase_forest から！



©森林課

0274-40-2316

サウナが森を救う

① 森林整備が進みます

景観やアクセスのための道路、施設の建設のために、草刈りや間伐などを行います。これにより森林整備が進みます。



② 余すところなく木を使います

薪や備品の製作、施設の建設のために木材から枝葉まで利用します。森林整備によって産出される間伐材などを余すところなく利用できます。



③ 森林の関係人口を増やします。

サウナという多くの人に愛されるアクティビティを入口に、森林や林業に関心をもってもらう機会をつくれます。

